

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 20 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	農林業者研修集会施設管理運営費				
担 当 課 係 名	角館総合窓口 課		振興 係	作成者	黒沢系子
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	特色ある資源を活かした産業創造のまち			総合計画の ページ
	基本計画	森林の整備と林業の振興			
	主要施策	農林業体制整備と林業生産活動の活性化			65
予 算 費 目	一般 会計	6 款 農林水産費	1 項 農業費	6 目 農業施設費	
事 業 期 間	平成 年度 ~ 平成 年度		新規 / 継続の区分		継続
性 質 区 分	☐ 市民サービス ☐ 公共事業 ☒ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				
根 拠 法 令 等	仙北市農林業振興施設条例・同施設管理規則				
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
運 営 方 法	☒ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 （誰のため・何を）	仙北市農林業者
事業の目的・意図 （どういう状態に したいのか）	農林業の振興を図り市勢の産業及び健康、福祉の増進のための施設
事業の内容 （どのような業務、 活動を行うのか）	農林業者の経営技術の研修と営農相談等、生活改善を図るための研修また市民の健康、福祉増進のための活動施設、管理業務の一部管理人に委託し活動している。

【事務事業の推移】

	項 目			単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	
効果	活動指標	施設開館時間数 （ 3 集落施設 ）	目標	H	14,001	13,988	14,001	
			実績	H	6,617	5,785	6,201	
			達成度	%	47.3%	41.4%	44.3%	
	成果指標	施設利用者数 （ 3 集落施設 ）	目標	人	10,000	10,000	10,000	
			実績	人	9,717	9,188	9,601	
			達成度	%	97.2%	91.9%	96.0%	
投下コスト	項 目		総事業費		18年度決算額(千円)	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)	
	事業費（人件費を除く）(A)				3,529	3,080	3,141	
	人 件 費 (B)		—		2,356	2,421	2,378	
	職 員 数		—		0.30	0.30	0.30	
	職 員 平 均 人 件 費		—		7,853	8,071	7,925	
	(A) + (B) 投下コスト				5,885	5,501	5,519	
	財源内訳	国 庫 支 出 金				0	0	0
		県 支 出 金				0	0	0
		地 方 債				0	0	0
		そ の 他				104	33	20
		一 般 財 源				5,781	5,468	5,499
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—		889	951	890	
	市民1人当たりのコスト(円)		—		185	175	178	

【事務事業の今までの成果】

地域密着型施設で特に雲沢集落施設は稼働率 65.5%と推移し、各施設の老朽化部分を順次補修しながら維持管理に努めている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	特になし
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	仙北市農林業振興と生産活動活性化の場、市民の健康福祉向上のための地域施設として提供

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性	判 定 に 至 っ た 理 由
A	A 現状のまま継続（実施）	仙北市農林業振興のため利用率の高い雲沢集落施設の屋根の老朽が著しく今後補修が必要と思われるが多目的に利用されている。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
A	農林業振興における地域の活動拠点としての役割を担っており、引き続き必要と考えられます。

一次評価診断図

